

学校図書館の運営について

質問（小西久美子議員）学校図書館を更に活用、充実させるために、図書費の増額と学校司書を全校に配置する考えについて伺います。

答弁（教育部長） 文部科学省が実施した学校図書館の現状に関する調査では、平成二十二年度一年間の図書購入の全国平均は、小学校が三百九十五冊、中学校が四百五十二冊で、本市の状況と比べると、全体的には全国平均と同程度であります。

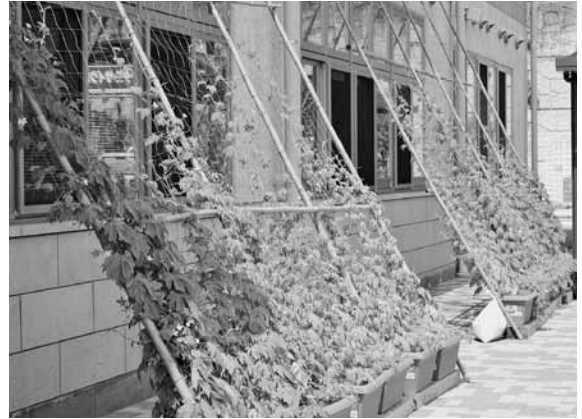
学校司書の配置については、現在市内全校におります司書教諭とは別に、今年度より学校図書に関する業務を行う学校図書館活性化推進員三名を臨時職員として、市野沢、薄葉及び黒羽の各小学校に配置いたしました。その三校は学校図書館の拠点校として、当該校の学校図書館の活性化に当たるほか、近隣の小中学校の要請により、各校の学校図書館の活性化に取り組み計画であります。

また、文部科学省では、平成二十四年度から学校図書館五カ年計画を策定しました。これまでも図書費については地方交付税措置がとられておりましたが、今回新聞の配備、学校司書の配備などに必要な経費についても地方交付税により措置することとしております。

本市では、国の子供読書活動推進計画を基に、現在、子供読書活動推進計画策定に向けて準備を進めております。その中で、学校図書館のあり方についても十分に検討し、図書の購入や司書の配置も含めて研究していきます。



子どもの読書活動優秀実践校として文部科学省大臣賞を受賞した川西小学校



昨年に引き続き、黒羽支所では緑のカーテンを実施

節電対策について

質問（増淵寛江議員）節電、省エネを進めていく上で、本市における今年度の節電方針並びに家庭や企業等における節電意識を高めるための取り組みについて伺います。

答弁（総合政策部長） 本年五月、東京電力株式会社が発表した「今夏の需給見通しについて」では、八月の電力供給力は五千七百七十一万キロワット。それに対する需要量は、平年並みの気温の場合で

五千三百六十万キロワット、平成二十二年度並みの猛暑の場合で五千五百二十万キロワットを想定し、電力の予備率は平年の場合で7.7%、猛暑の場合でも4.5%となり、安定供給を確保できる見通しということでありま

す。今年度の本市の節電方針については、県の節電方針を参考にし、震災前の平成二十二年度に比べまして、昨年度同様、15%の削減を目標数値と設定し、実施

いたしますとともに、冬季の節電方針につきましても引き続き実施したいと考えております。今年度においても、家庭や事業所でも効果的で正しい節電を行っていただくために、広く市民や事業所に啓発していくほか、適宜テレビのデータ放送に情報を提供して、節電対策の具体化と周知徹底を図ってまいります。さらに市役所、市民、事業所等が一体となって節電に取り組むことができますよう、市の節電方針の内容について市のホームページへ掲載いたしました。さらに周知徹底を図ってまいります。